

ベタニヤホームだより

社会福祉法人 ベタニヤホーム
〒130-0022 東京都墨田区江東橋5-4-1
電話 03 (3631) 0 4 4 4
FAX 03 (6659) 6 6 7 2
発行責任者 網 春子



2021年夏号 第138号

令和3年度社会福祉法人ベタニヤホーム
イースター礼拝

復活の疑い?! (マルコ16:1-8)

日本福音ルーテル東京教会

牧師 松本 義宣
(ベタニヤホーム評議員)



私たちの父なる神の主イエス・キリストから恵みと平安があなたにあるように。アーメン。

はじめまして、日本福音ルーテル東京教会の松本義宣です。昨年4月に東京教会に赴任して、秋に一度ごひつじ保育園の収穫祭礼拝を担当させていただきましたが、大部分の方は今日初めてお会いいたします。

本日は、ベタニヤホームの復活祭礼拝にお招きいただき光栄に存じます。本日のタイトルは「復活の疑い?!」としました。これはキリスト教会の最初期から言われていた伝統的な言葉です。「復活の疑い?!」と聞くと、現代人、疑い深い私たちは「なるほど、そうか! イエス様が復

活したのは信じがたい、昔から疑いがあったのだな」と納得する方があるかもしれません。しかし、実は、正反対の意味なのです。「復活の疑い?!」はイエス様の復活を疑うのではなく、「死の支配」「死の力」を疑うようになることなのです。人間は誰でも確実に死ぬ。「死の力」は誰も動かせない事実であり、誰もが不安と恐怖を抱いています。しかし、「イエス・キリストの復活」の音信を聞き、それを信じる者はその死の事実を疑い始める。もしかすると、その死の事実は、そんなに動かせないものではないのかも知れない。そうさせるのが、イエス様の復活を祝うイースターなのです。

人間が、かつて一度も疑わなかった確



実に絶対的な「死」というものが疑わしいものだ、それはもしかすると不確実なものではないのか。その「復活の疑い?!」にひとたびとらわれると、すべてのことが変わって見えてくる。それが信仰と呼ばれるものに他なりません。

信仰とは、固く信じ込むことと私たちは考えがちです。しかし、主の復活によって私たちが絶対確実だと考えていた死の現実が違って見えてくる。実は、この逆転がとても大切なことなのです。死者がよみがえる、蘇生するということは信じがたいものです。それを丸ごと飲み込んで無理やり復活を信じなさいと聖書は言いません。むしろ死が絶望の境地であるという現実を揺るがしていく。別の真実があるのではないかと疑わせていく。その疑いによって新しい真実に目を向けるようにさせていくのです。「主の復活」が突きつけるもの、それは人間にとり絶対である死が、もはや絶対ではないということなのです。

本日の聖書の箇所によれば、葬られたイエス様の遺体をねんごろに用うために、女性たちが墓に香料を買っていくと墓は空っぽでした。白い衣を着た若者が現れ、あの方はここにいないと言った。墓が空っぽと突きつけられ、この女性たちは恐ろしかった、正気を失ったとあります。喜んだということと締めくくられていない。人は死んで死で終わるといっ



これまで絶対だと思っていた事実が覆されたということだと言えるでしょう。私たちには予想だにしていなかった命の世界があるのです。それが「復活の疑い?!」です。私たち人間が、それを聞く時がイースターです。

最後に、初代教会から伝わるもう一つの面白い言い方を紹介します。「復活祭の高笑い」、むしろ「ばか笑い」と訳せる言葉です。伝統的な復活祭礼拝は、土曜日から徹夜で行われました。翌朝のプログラムの一つに、「復活の主は」讃美歌21・316番（教会讃美歌103）が歌われた直後、イースターの説教がなされ、皆大笑いする風習があったそうです。実際どのような礼拝だったか不明ですが、礼拝の中で腹を抱えて「ばか笑い」をしたらしい！堅苦しい中でも笑わずにいられない。イエス・キリストの復活を祝うために集い、キリストの復活を信じると大声で笑わずにはいられなくなる。疑いが生じ常識が覆された。もはや死は恐怖や絶望ではない。今度は疑いが大笑いに変わる。それが私たちの信仰の真実となるのです。

新しい未来、この限定された限りある肉体の命の

先に、復活の主に結ばれることで約束された永遠の命がある。そのことを改めて聞きとり高笑いをしてください。イースター「主の復活」おめでとうございます。アーメン。



法人創立100周年記念事業に向けて

令和5年9月、社会福祉法人ベタニヤホームが創立100年の節目を迎えます。このかけがえのない記念すべき時に、次の100年に臨む法人のこれからのミッションを記念事業の実施を通じて確認してまいりたいと思います。

今年度に入り、具体的な検討・準備をすすめており、現在、各施設の職員を中心に組織した法人創立100周年記念事業準備委員会(以下「準備委員会」)を発足させ、3回ほどの検討を重ねてまいりました。

準備委員会では、記念事業のコンセプト、方向性、事業案や周知方法などの枠組みをまとめ、法人創立100周年記念事業実行委員会(以下「本委員会」)設置案とともに理事会へ提案させていただく予定です。

本委員会発足後は、準備委員会は本委員会の作業部会として具体的な準備事務に携わります。今後、

本紙面等で経過をお伝えさせていただきます。

富士見保育園舎建替えに備えて

富士見保育園の現園舎は、竣工してから約50年になるつとじています。これまで様々な改修、修繕を随時行い施設の延命化を図ってまいりましたが、経年による劣化は年々進行しており建替えの必要性が高まりました。

保育所の運営は、私立保育園が年々増加傾向にあり、江戸川区でも令和3年度には100園を超え、令和4年度にはさらに10園増える予定とのことです。江戸川区は、これまで待機児童が多い現状がありました。江戸川区は、これまでも待機児童が多い現状がありましたが、児童数は地区によって偏りがあり、定員割れが起きている園もあります。今後5年、10年で状況が変わってくることも踏まえ、建て替えを検討してまいります。保育需要のみならず、子育て全般の支援などを含めた事業を考えてまいります。

今年度から、富士見保育園建替え準備委員会(以下「準備委員会」)を内部職員を中心に専門家のご参画もいただき発足させ、建替え事業の検討や行政等との打合せを開始しています。

準備委員会では、基本理念に基づき新園舎及び建替え後の事業等への多くのイメージを出し合い、建物、設備等について必要・絶対条件を絞り、理事会への提言をまとめます。その後、富士見保育園建替え事業実行委員会(以下「本委員会」)へパトナツチを行い、速やかに設計、行政への申請作業につないでいきたいと考えています。

令和2年度を振り返って（事業及び決算概要）

キリスト教の隣人愛の精神と社会福祉の理念に基づく社会福祉法人ベタニヤホームの基本理念の実現と使命を果たすべく、また、社会福祉法人として法に基づく適正な組織運営とガバナンスの強化を図るため、前年度の積み残しを含め様々な取り組みを計画いたしました。今年度は、新型コロナウイルスの影響を受け、法人全体において十分な取り組みが叶いませんでした。

1. キリスト教社会福祉の実践をすべての施設に浸透させるための法人内研修は、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響によりほぼ行えず、十分な取り組みはできませんでした。

2. 社会福祉法に基づく信頼ある法人としての役割を果たしていくため、定款細則、経理規程等の改正及び事業決定規程、文書管理規程を新たに制定したほか、今後の常務理事設置に向けた条件整備について経営委員会や理事会等で検討を重ねました。

3. 定款ほか例規類を法制度及び法人の組織体制に沿うよう点検、再整備をすめるとともに、特に新型コロナウイルス感染症対策として、職員が安心して働ける環境を整えるため、必要な休暇の取得や所得補償等に関する規定を整えました。

4. 令和2年度より複数年にわたっての取り組みとして掲げたものうち、法人創立100周年に向けての情報収集とプロジェクト化の検討を行いました。他の取り組みは、新型コロナウイルス感染症対策を優先したことによりほぼ見送りました。

5. 教会との関わりでは、日本福音ルーテル聖パウロ教会が、法人全体で実施する礼拝の会場として、また、月例開催の施設連絡協議会における礼拝にもご協力をいただき、特に、コロナ禍にある施設利用者や職員等の精神的な支えとなっていたいただきました。また、日本福音ルーテル教会の現役、引退の教職の方々が理事・評議員として法人運営にご参画いただいたほか、各施設の担当牧師としての働きをお願いさせていただきました。

※ 令和2年度の法人及び各施設の詳しい事業報告及び決算報告は、法人ホームページに掲載させていただいておりますので、ぜひご覧くださいます。

第三号第一様式

法人単位貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

法人名：社会福祉法人 ベタニヤホーム

(単位： 円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流 動 資 産	213,198,551	658,950,865	▲ 445,752,314	流 動 負 債	85,313,154	494,765,514	▲ 409,452,360
現 金 預 金	178,393,451	147,764,040	▲ 30,629,411	事 業 未 払 金	9,458,067	467,700,948	▲ 458,242,881
事 業 未 収 金	10,899,896	25,219,519	▲ 14,319,623	1年以内返済予定設備資金借入金	10,382,000	8,150,000	▲ 2,232,000
未 収 補 助 金	22,130,494	484,307,952	▲ 462,177,458	1年以内返済予定リース債務	0	9,801,000	▲ 9,801,000
立 替 金	346,413	83,087	▲ 263,326	職 員 預 り 金	10,083,087	9,013,566	▲ 1,069,521
前 払 金	69,419	468,689	▲ 399,270	仮 受 金	0	100,000	▲ 100,000
前 払 費 用	1,280,060	1,107,578	▲ 172,472	賞 与 引 当 金	55,390,000	0	▲ 55,390,000
1年以内到来の長期前払費用	78,828	0	▲ 78,828				
固 定 資 産	2,043,206,708	2,154,538,665	▲ 111,331,957	固 定 負 債	209,863,946	216,625,286	▲ 6,761,340
基 本 財 産	1,087,917,990	553,413,943	▲ 534,504,047	設 備 資 金 借 入 金	149,678,000	160,060,000	▲ 10,382,000
土 地	69,150,440	69,150,440	0	退 職 給 付 引 当 金	60,185,946	56,565,286	▲ 3,620,660
建 物	1,018,767,550	484,263,503	▲ 534,504,047	負 債 の 部 合 計	295,177,100	711,390,800	▲ 416,213,700
その他の固定資産	955,288,718	1,601,124,722	▲ 645,836,004				
建 物	663,573	891,083	▲ 227,510	純 資 産 の 部			
構 築 物	35,840,213	19,181,686	▲ 16,658,527	基 本 金	160,328,374	160,328,374	0
車 輛 運 搬 具	1,072,139	1,569,722	▲ 497,583	国庫補助金等特別積立金	669,627,683	790,309,411	▲ 120,681,728
器 具 及 び 備 品	22,634,066	11,740,090	▲ 10,893,966	そ の 他 の 積 立 金	834,461,737	751,768,153	▲ 82,693,584
建 設 仮 勘 定	0	686,944,400	▲ 686,944,400	人 件 費 積 立 金	196,957,000	166,957,000	▲ 30,000,000
有 形 リース資産	0	71,884,800	▲ 71,884,800	修 繕 積 立 金	47,300,000	47,300,000	0
ソ フ ト ウ ェ ア	270,660	365,330	▲ 94,670	備 品 等 購 入 積 立 金	6,500,000	6,500,000	0
退 職 給 付 引 当 資 産	60,185,946	56,565,286	▲ 3,620,660	保 育 所 施 設 ・ 設 備 整 備 積 立 金	382,904,201	344,904,201	▲ 38,000,000
人 件 費 積 立 資 産	196,957,000	166,957,000	▲ 30,000,000	施 設 整 備 等 積 立 金	35,000,000	20,000,000	▲ 15,000,000
修 繕 積 立 資 産	47,300,000	47,300,000	0	施 設 整 備 費 積 立 金	70,647,485	70,647,485	0
備 品 等 購 入 積 立 資 産	6,500,000	6,500,000	0	施 設 拡 充 積 立 金	84,231,183	84,231,183	0
保 育 所 施 設 ・ 設 備 整 備 積 立 資 産	382,904,201	344,904,201	▲ 38,000,000	職 員 共 済 会 積 立 金	2,171,016	2,477,432	▲ 306,416
施 設 整 備 等 積 立 資 産	35,000,000	20,000,000	▲ 15,000,000	林 基 金 積 立 金	8,750,852	8,750,852	0
施 設 整 備 費 積 立 資 産	70,647,485	70,647,485	0	次 期 繰 越 活 動 増 減 差 額	236,810,365	399,692,792	▲ 162,882,427
施 設 拡 充 積 立 資 産	84,231,183	84,231,183	0	(うち当期活動増減差額)	▲ 20,188,843	▲ 6,640,788	▲ 13,548,055
職 員 共 済 会 積 立 資 産	2,171,016	2,477,432	▲ 306,416	純 資 産 の 部 合 計	1,961,228,159	2,102,096,730	▲ 140,870,571
林 基 金 積 立 資 産	8,750,852	8,750,852	0				
差 入 保 証 金	50,000	50,000	0				
長 期 前 払 費 用	25,060	78,828	▲ 53,778				
そ の 他 の 固 定 資 産	10,360	10,360	0				
資 産 の 部 合 計	2,256,405,259	2,813,489,530	▲ 557,084,271	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	2,256,405,259	2,813,489,530	▲ 557,084,271

母子生活支援施設ベタニヤホーム

●母の日お祝い会●

5月9日は「母の日」という世界共通の日です。母子生活支援施設ベタニヤホームでも、5月15日に「母の日お祝い会」を行いました。子どもたちは事前に手作りのプレゼントや日頃の感謝などをお手紙に書いて用意しました。

当日、子どもからお母さんへプレゼント等を渡しました。普段一緒に生活することが当たり前の中で、感謝や口煩思っていることを伝えるタイミングがなかなか無い子どもたちが、「いつもありがとう」「ママ大好きだよ」「ケンカしてごめんね」と、少し照れながらお手紙を読んできました。子どもたちからの感謝のお手紙を聞いて、恥ずかしそうだけど嬉しそうにしているお母さんの姿が見られ、職員も含めたその場にいる全員に笑顔がおりてきました。



菊川保育園

●給食室と一緒に●

5月の朝、2歳児クラスの子どもが「見てー」と事務所に届け物をしてくれました。お届け物のかごの中には大きなイチゴ。3月から大事に育てたものでした。給食さんに渡そうとすると、保育者の後ろに隠れ、照れながらも「お願いします」と伝えていました。クラスみんなで分かち合うので、ひとり分のイチゴはほんのひとかけらとなりませんが、大切によく味わっていた子どもたちです。

園で収穫した野菜も子どもたちが給食室へ届けます。「今日のお給食に入れるね」と声かけられて、「自分たちのご飯を作ってくれる人」を身近に感じるひと時です。

食事の味付けや硬さ、食べ具合など給食室と保育室とで日頃から連携を取り合っています。時期の違う野菜や調理方法で同じ柔らかさにすることは大変な作業ですが、時には「離乳食にも特別な日のご飯があるといいな」と職員から意見が出ると、花形の柔らかい人参が彩りになる等「おいしい」だけでなく、心にも温かい料理を提供してくれています。

幼児クラスでは、梅ジュースを作りました。今年は、赤い実の入ったピンク色の梅ジュースも仕上げる予定です。子どもたちに関わる様々な人達が、子どもの楽しみを温かく心を込めて見守っています。



「おねがいします」



「いちご、赤くなったよ」

富士見保育園

●ファミリークラスによるこそ！●

3歳児ちゅうりつぶぐみのお友だちが、4月からファミリークラスの仲間になりました。これまでの乳児クラスとは違う異年齢のクラスとなり、4歳児、5歳児のおにいさんおねえさんと3人組になって、頼ったり助けられたりして過ごします。

ファミリークラスでは、ちゅうりつぶぐみのお友だちを歓迎し、3人組に親しみを持ってもらおうと、ミニ運動会を開きました。



「力を合わせてボールを運ぶぞ！」

3人組の仲間でチームを作り、玉入れ、綱引き、ボール運びリレーをして楽しみました。どの種目も、3人で力を合わせる事が大切なものです。おにいさんおねえさんについていくばかりだったちゅうりつぶぐみさんも、最後には声援を送ったり、3人組で手を合わせて勝利を喜び合ったりする姿がみられました。

これから一年間、この3人組で、このクラスで、一緒に楽しく助け合って過ごしていきます。一年の最初に素敵な交流の時間を持つことができ、ファミリークラスの楽しさを味わってもらえたかと思えます。今年度も、楽しい思い出がいっぱいのクラスにしていきます。



「玉入れでファイト！」

こひつじ保育園

●メダカへの祈り●

近所の方にメダカを譲って頂き、5歳児クラスで飼育を始めました。水槽に顔を近づけ目を輝かせて観察。卵を抱えているメダカもいたので、毎日「今日も卵ついでるー」「早くしないと食べられちゃう」と保育者に知らせてくれます。1匹のメダカが小さな命を終えてしまったことを知ると「なんで死んじゃったんだろう」「卵たくさん産んだから疲れちゃったのかな」「ぶつかっただけなのかな」と子どもたちなりに理由を考えていました。死んでしまったメダカをどうしたら良いか子どもたちに問いかけると「お墓つくってあげよう」と声が上がったので植木鉢にお墓を作り、神様の元へ帰れるようにしました。手を組み、静かに祈りを捧げる子どもたち。「…天国では怪我しませんように…」とちいさな、小さな祈りの言葉も聞こえてきて子どもたちの傍に神様がいてくださっていることを確認でき、柔らかくて優しい時間が流れていました。



法人本部報告

◇監事による監査の実施報告

令和3年5月18日に、事業執行状況に関する監査、契約・人事・権利擁護に関する監査を実施し、5月25日に会計に関する監査を実施し、監査結果について理事長に報告がされました。

◇理事会開催報告

令和3年6月4日に、令和3年度第1回理事会をリモートで開催し、下記の議案すべてについて決議を受け承認されました。

- 議案第1号 令和2年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）
- 議案第2号 令和2年度事業報告及び決算報告の承認について
- 議案第3号 社会福祉充実計画の策定について
- 議案第4号 社会福祉法人ベタニヤホーム有期契約職員就業規程の一部改正について
- 議案第5号 社会福祉法人ベタニヤホーム役員等報酬規程の一部改正について
- 議案第6号 役員等賠償責任保険契約について
- 議案第7号 次期評議員選任・解任委員の選任について
- 議案第8号 次期評議員選任候補者の推薦について
- 議案第9号 次期理事及び監事選任候補者の推薦について
- 議案第10号 令和3年度第1回評議員会の招集について

また、令和3年6月25日に、令和3年度第2回理事会を開催し、下記の議案について決議を受け承認されました。
議案第11号 理事長の選定について

◇評議員選任・解任委員会開催報告

令和3年6月8日に、令和3年度第1回評議員選任・解任委員会をリモートで開催し、令和3年6月19日から就任の次期評議員候補者8名について選任決議を受けました。

◇評議員会開催報告

令和3年6月19日に、令和3年度第1回評議員会の提案事項すべてについて、書面にて決議を受け承認されました。

- 議案第1号 令和2年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）
- 議案第2号 令和2年度事業報告及び決算報告の承認について
- 議案第3号 社会福祉充実計画の策定について
- 議案第4号 社会福祉法人ベタニヤホーム役員等報酬規程の一部改正について
- 議案第5号 次期理事及び監事の選任について

【新役員等のご紹介】（敬称略）

- 〈理事長〉 綱 春子
- 〈理事〉 7名 任期：令和3年6月19日～令和5年開催の定時評議員会終了の時まで
綱 春子、友田 直人、松田 繁雄、川島 克之、鷺見 達也、和田 眞弓、伊丹 桂
- 〈監事〉 3名 任期：令和3年6月19日～令和5年開催の定時評議員会終了の時まで
松原 康雄、飯村 史恵(※)、谷 明彦 ※…令和2年6月23日～令和4年開催の定時評議員会終了の時まで
- 〈評議員〉 9名 任期：令和3年6月19日～令和7年開催の定時評議員会終了の時まで
原島 博、下田信二郎、廣田 仁一、神作正一郎、齋藤 弘美(※)、内藤 文子、田島 靖則、小勝奈保子、松本 義宣 ※…令和元年6月13日～令和5年開催の定時評議員会終了の時まで

【ご退任になられた役員等】（敬称略）

このたび、令和3年6月19日付をもって下記の理事、監事及び評議員がご退任となりました。法人、施設の適正で安定的な運営のために尽くして下さった5名の方々に、心より感謝申し上げますとともに、今後とも社会福祉法人ベタニヤホームを温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。大変お疲れ様でした。

- 〈理事〉 伊藤 操
- 〈監事〉 皆川 明良
- 〈評議員〉 北尾 一郎、米澤 克子、大串 紀代子

ご協力ありがとうございました

〈令和3年4月～令和3年6月まで〉（敬称略）

●ご寄附

〈母子生活支援施設〉 日本福音ルーテル聖パウロ教会教会学校（イスターお菓子・文房具）、明治神宮崇教会（洗剤）、株式会社われかもす パン工房様のかくれ家（パン）、一般社団法人ハートフルファミリー（カーネーション・クッキー）、株式会社クrost（ランドセル・マスク）、墨田区更生保護女性会（紅茶・タオル）、匿名（お米）

〈菊川保育園〉 花やみつばち（花）、佐々木順子（花）、花嶋造園（笹）、匿名（幼児用マスク）、在園児祖父（食品トレー）

〈富士見保育園〉 正林尚子（タオル）、小川清子（ミニカー）

〈こひつじ保育園〉 ぶんぐのふくや（めだか）、園児保護者（紙）、明日のすみだを語る会 会長 大野正市（ヒマワリの種）、中村喜久子（アサガオの種）

●ボランティア

〈菊川保育園〉 太田和子（裁縫）

●地域公益活動（パントリー）協力団体

認定特定非営利活動法人セカンドハーベスト・ジャパン（食品他）、公益財団法人キューピーみらいたまご財団（マヨネーズ600本、パン工房カレー720本）

編集後記

今年とは昨年比べ、梅雨の前に暑さがやって来たような気候でした。今年はおリンピックが開催されることから、街を歩けばオリンピックマークが多く見られるようになり、東京は応援ムードになってきました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大はまだまだ、不安ばかりでストレスだと思いますが、自分を守るためにも『Cheering at home』『お家で応援』していきましょう。近い将来、『そんなこともあったよね』と気軽に言える状況になることを信じて。